

新会長 ご挨拶 会長が交代しました



この5月に前任の鈴木朗会長から会長を引きついだ東岡見行政区区長の三村武教と申します。よろしくお願ひ申し上げます。岡田小地区社協は平成25年3月の発足以降4年間、鈴木前会長のご指導の元その礎を築くとともに、実績も挙げて参りました。特に、昨年11月の牛久市との協働事業「しあわせのクローバーin岡田小学校区」は岡田小地区社協の力を大いに発揮できた大イベントでした。

広報誌「きずな」や「ホームページ」などの広報、田植えから餅つきまでを学習しようというもち米作りでの岡田小学校との連携は地に足が根付いた事業だといつていいと思います。これからは、交通移動支援、生活支援を高齡化社会での地域の不可欠なテーマとしてとらえ、力を入れていく所存です。市や地域の方々のご協力なしにはなしえないテーマです。よろしくお願ひいたします。

岡田小児童による初めての田植え体験

岡田小の4年生が田植えから餅つきまでを体験します

岡田小の宮田前校長から、「毎年5年生が対象の「餅つき」を行っているが児童たちに、実体験を通してもち米の出来るまでを教えたいので、協力して貰えないか」との要請がありました。

岡田小地区社協として協力する事を決め、学校との連携チームが担当して、先ず田んぼ探しから始めました。学校近くの田んぼで米を作っていない田んぼを見て回り、4ヶ所の候補を選び、市役所、法務局で持ち主を調べ、持ち主の家を一件ずつ訪ねました。

その結果、レストランニュータカラの横の田んぼの持ち主の方との交渉がまとまりました。3年前まで自家用に米を作っていたが高齡で米作りを止めたので、岡田小学校の子ども達の教育の一環で使用するのであれば無償で使ってもいいと快諾を頂きました。借りた田んぼの広さは、約174坪（574平方メートル）です。

児童たちによる田植を5月17日に実施しました。岡田小地区社協のメンバー26名と小林PTA会長の計27名も協力し、下柏田行政区寺田前区長の指導のもと、4年生の児童92名が田植を行いました。

児童たちにアンケートを取った結果、「田植えの大変さが分かった」、「冷たくて気持ちが良かった」、「初めてでドキドキした」、「予想よりヌメヌメして深かった」、「足を抜くのが大変だった」、「体験出来て良かった」、「転びそうになり怖かった」・などなど、概ね好評でした。



6月2日・苗はしっかり根付きました



7月23日・田植えから67日目、順調です



5月17日・田植え風景

第4回報告大会を開催しました

平成29年6月3日(土) 場所:中央生涯学習センター

報告大会は前年度活動報告と当年度活動計画を広く地域の皆さんに報告することを目的としています。第4回報告大会は6月3日、牛久市中央生涯学習センター多目的ホールにて開催しました。当日は岡田小の運動会と重なり、参加者が少ないのではと心配しましたが、市長をはじめ多くの来賓をお迎えし、90名余りの参加者を得て盛会裏に開催されました。

会は今年5月に選任された新会長三村武教氏の挨拶から始まりました。三村会長からは「すでに4年経過し子育て支援データベースの作成、牛久市保健センターとの協働事業「健康長寿まつり」の開催、「昔の遊び」や「歌声集会」などの岡田小との連携等々実績も上がっている。これからは高齢化社会を迎えている中で「交通移動支援」など地域に根差した活動をしていきたいと挨拶がありました。

続いて議事に入り、1部会、9委員会からそれぞれ、活動実績、活動計画について報告・説明がありました。その概要は下記の通りです。詳細をお知りになりたい方は「岡田小地区社協のホームページ」をご覧ください。ヤフーやグーグルの検索エンジンで「岡田小地区社協」と入れて検索し、メニューの「報告書」からご覧になる事が出来ます。

☆1対1の見守り：75歳以上の独居者すべてを見守り対象とするなどした結果、見守り比率は改善された。地域ぐるみの見守りを目指している。

☆健康長寿の促進：牛久市保健センターとの協働事業「健康長寿まつり」は330人余りの参加者を得て大成功だった。これを糧に行政区とタイアップした健康長寿に向けた活動につなげていく。

☆子育て支援：子育てに関するアンケートでは子どものたまり場づくり、登下校の安全確保のニーズが強かった。アンケート結果に基づき、地区社協としてできることから実行していく。

☆高齢者に対する支援：交通移動に関するアンケートから、高齢化に伴う交通移動支援、日常生活支援に対するニーズが強かった。行政の力を借りることも含めて対応を検討していく。

☆住民交流の促進：高齢化が進むにしたがって、健康長寿に対するニーズは強まっていく。行政区内、行政区間の交流を通して元気で長生きが実現できるようできることから実施していく。

☆学校との連携：昔遊び・田植えから餅つきまで・ウォーキングパトロールなど岡田小学校との連携、そしてボランティア部・その他の部活の生徒が地域へ出向いて実施する諸活動の受入れなど牛久一中との連携を実施している。



活動報告・活動計画の発表風景



会場の皆さんは発表を熱心に聴いていました



質疑応答も熱心に行われました

行政区の活動報告

・・・下根ヶ丘行政区 「うたコン祭りで交流」・・・

地域の皆さんとの交流の輪を広めようと、去る6月25日（日）に下根ヶ丘会館に於いて、「うたコンまつり」を開催しました。当日は、前夜来の梅雨も上がり、午前10時の開催時にはほぼ満席となるまでの盛況となり、牛久市長や近隣の区長等の来賓のもとに賑やかに開会しました。

出演者は、子供会から90歳代までの幅広い68名の皆さんの出演の協力を頂きました。内容もカラオケ、コーラス、民謡、歌唱、演奏などから笑踊り（ひょっこり）までと多彩で、拍手と声援のなか大いに盛りあがりました。



特に、市長とのデュエット、仲よし家族での歌唱、先輩シニア方の熱唱などに魅了され、楽しく元気を頂いた心なごむ一日となりました。他の地区からも多く来場され、延べ160名という大盛況となりました。



引き続き開かれた打ち上げでは、開催の好評や次回への要望も多く、地域コミュニティーの活性と交流を広める事が出来た祭りとなりました。

開催に際しご協力を頂きました自治会員及び、たまり場ボランティアなど多くの皆さまに深く感謝を申し上げます。有難うございました。



・・・第八岡見行政区 <バスハイクに行ってきました>・・・



6月17日土曜日 前夜の激しい雷雨がうそのように晴れ渡り好天に恵まれました。ぐんまフラワーパークに向け第八岡見自治会の会員48名を乗せた大型バスは会館を出発しました。

牛久ICから圏央道を経由し赤城山の麓にある、ぐんまフラワーパークまで 休憩をとりながら2時間30分、ゆったりした旅でした。

到着後、ゆっくり園内を見し、レストランでは豆乳鍋御膳に舌鼓を打ち、帰りは道の駅ハイウェイオアシス・ららん藤岡で買い物を楽しみました。



・・・松ヶ丘行政区【土曜カフェでオカリナコンサート】・・・

6月24日（土）午後、松ヶ丘の土曜カフェでオカリナコンサートを開催しました。
演奏者は、牛久市役所職員で、牛久市民吹奏楽団常任指揮者の関稔さん。

最初は、普通の「カフェ」で、皆さんテーブルでコーヒーを楽しみましたが、演奏開始の午後3時が近づくとつれて、来場者が60人を超える盛況となったため、急きょテーブルを片付け全て椅子席に変更して来場者の皆さん全員ホールに着席頂きました。



演奏は「愛、燦々」に始まり「コンドルは飛んでいく」「A列で行こう」など、フォルクローレやジャズ、そして「上を向いて歩こう」「川の流れのように」といった歌謡曲まで多彩なレパートリーが披露され、プロ級と評判の演奏テクニックと相まって「涙が出るほど感動した」という人もいました。

聴衆は松ヶ丘だけでなく、栄町、刈谷、つくば、竜ヶ崎などから来られた方もいました。



・・・東岡見行政区 <防災訓練を実施しました>・・・

東岡見行政区の自主防災訓練は5月17日に実施され、牛久一中の担当の先生2名と生徒さん達9名にも参加してもらいました。全体で100名余り、住民4人に1人の参加者、近年では最大の参加者でした。



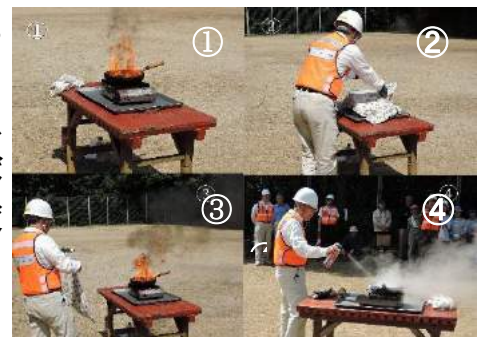
訓練の概要は下記の通りです。

1. 本部設営・運営訓練・情報伝達訓練

- ・班長は班内の家屋や人的被害情報を収集後、班員を伴って防災本部へ集合、被災状況を報告。班別に集合、防災部長から防災に関する心構え等の話が合った。

2. 初期消火訓練

- ・天ぷら油を入れたフライパンを、ガスコンロで加熱し続けると、間もなく着火(写真①)。
- ・フライパンの火を布で覆い消火、しばらくして布をとると再び着火(写真②③)。
- ・しっかり油の温度が下がるまで待たないと再着火することが良く分かった。
- ・再着火した火は簡易消火器を使って消火(写真④)



3. 救護資材(応急担架)取扱訓練

- ・2本の竹と毛布を使って応急担架を作成、担架に人が乗っても、担架の布が抜け落ちないように作る方法を習得。
- 牛久一中生も、担架作り、担架での搬送を体験、大活躍でした。

4. 応急救護訓練

- ・会館内で胸骨圧迫訓練、AEDの使用訓練を実施回数を重ねてきたので慣れてきた様子だった。



応急担架による搬送訓練